

8月9日(水)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



HIMARIの非凡なセンス ×秋山の円熟 聴き応えある一夜!

8/8 日本センチュリー交響楽団

冒頭から晴朗な響きがホールを包み込む。フェスタサマーミュージック初登場となった大阪の日本センチュリー交響楽団が奏でるシューベルトの交響曲第5番。指揮はこの楽団のミュージックアドバイザーを務める名匠・秋山和慶で、曖昧さのない明瞭な棒さばきでセンチュリー響から生き生きとした音楽を引き出す。端正ながらもそこに躍動感が息づき、第2楽章では深い呼吸によるカンタービレから立ちのぼる叙情が美しい。この曲の美質が自然に浮かび上がってくる。

2曲目のブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番でソロを務め

たのは、弱冠12歳の話題の少女ヴァイオリニストHIMARI。曲頭のカデンツァ風の上行パッセージからして実に表情豊かで、非凡なセンスを窺わせる。神童によくありがちのテクニックの鮮やかさだけで聴かせるというところはなく、音楽的な濃やかな表現を施そうとする姿勢が何とも好ましい。アンコールでのミルシテイン「パガニーニアーナ」ともども、彼女の優れた技巧と音楽性は当夜の聴衆をすっかり魅了した。

メイン曲である後半のドヴォルザークの交響曲第8番は、引き締まった明快な造形のうちに、次々と現われるいろいろな

楽想一つ一つに命を吹き込むかのごとく豊かに陰影を織り込んだ名演。第2楽章の冒頭に漂う寂寥感や、中間部での大きな高揚感など、情感の推移の描出も巧みで、秋山の円熟味がそこに感じられる。随所に現われる管楽器のソロをはじめとしてセンチュリー響の演奏レベルも高く、終演後はブラボーの声が飛び交うなど客席も盛り上がった。聴き応えある一夜だった。

(寺西基之/音楽評論家)



プレコンサートの様子



左：秋山和慶（指揮）
右：HIMARI（ヴァイオリン）

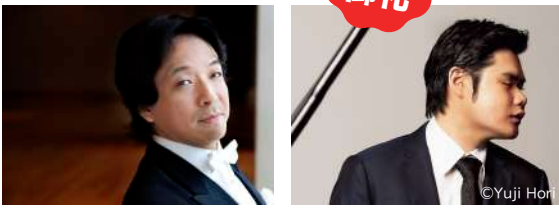
ご来場者の声

すばらしい演奏！！やっぱりセンチュリー毎年呼んで！（40代・会社員・dodouko）／懇祭は当たらなかったけど、演奏会は大当たり！秋山先生と日本センチュリーの皆さんに、ボヘミアの深い森へ誘って頂きました。何層にも重なる音色と身体から湧き出るリズムに身を委ねる至福のひとつ。有難うございます！（50代・カウンセラー・しがのふ）／素晴らしかった！HIMARIさんの演奏に鳥肌が立って感動した（30代・会社員・匿名）／サマーミュージックの楽しみの一つが首都圏以外のオケが出来ることです。今回の日本センチュリーは音のひとつひとつが鮮明でどの楽器が演奏してるかわかりました。秋山先生のタクトはゆったりと歌わせチェコのオケで聴いた時よりもドラマチックでした。ホールがストレートに音を響かせてるので心地よい演奏会でした。ソリストの方も10年後には世界の中心にいる気がします。今後が楽しみです。（60代・無職・プーさん）／プレコンサートは初めてでしたが、日本センチュリー交響楽団のことがよくわかりました。お話のあるコンサートは親しみやすいです。又来て下さい、大阪から！（60代・むしょく・まっさん）

Next!
サマーミュージック
明日のチケット情報

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
辻井のシオスタコと熱狂の『英雄の生涯』 サマーミュージック × ピアノ vol.7
8/10(木) 19:00 開演 (18:00 開場)
会場：ミュージア川崎シンフォニーホール

- プレトーク (18:20~18:40) 出演者によるプレトーク
※本公演と同じお席でお楽しみください。
- オネゲル：交響詩『夏の牧歌』
 - ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第2番 へ長調
 - R. シュトラウス：交響詩『英雄の生涯』
(ヴァイオリン独奏：石田泰尚)



指揮：沼尻竜典
ピアノ：辻井伸行

オリジナルグッズ販売中！

ホール内「ショップ」又は
ホール2F「特設販売所」にて

作曲家ふせん… ¥500(税込)
¥455(税抜)

クリアファイル… ¥330(税込)
¥300(税抜)

ふせんは
全部で4種類



小川典子の夢が2年越しの実現! 満を持してお届けする、須川展也との競演

来 年2月23日(金・祝)に開催する、
ミュージックのホールアドバイザー
小川典子による企画公演をご紹介します。

今回のテーマは「静謐(せいひつ)と
情熱の間に」。ここ数回ドイツロマン派
作品に取り組んできた小川が、ロマン
派から現代の作曲家へのスルーパスを
放ちます。

紹介する作曲家は、現在欧州で大注
目の英国人ジョセフ・フィブス。知性的
で穏やかなフィブスは、決して派手な
作風ではありませんが、その静謐な音
世界に聞き手が「おやっ?何?」と前の
めりになる魅力的&情熱的な空間を築
きます。それが黒い森のようなドイツ
ロマン派シューマンの音楽に通じるの
では?というのが今回のテーマです。

そして、そのフィブスが来日して小
川が委嘱した新作の初演に立ち会い、
さらに別日にワークショップも計画中
です。

同じく日本初演になるフィブスの
「Night Path's」は、サクソとピアノの

作品で、独奏は日本が世界に誇るスー
パーサクソ奏者、須川展也!

実は同曲を委嘱した英国のサクソ奏
者ヒュー・ウィギンは「本当は来年3月末
までは、この僕に同曲の独占演奏権が
あるんだけど、世界最高のサクソ奏者・須
川さんが演奏してくれるなら、喜んでOK
するよ!」と語ったほど、この作品を大切
にしています。

2021年のサマーミュージックで、小川は自
身の怪我により須川との共演を断念せざ
るを得なかった過去があり、静かに熱く2
年越しの共演を計画しています。

ぜひ「静謐かつ情熱的な」世界初演・日
本初演をあなたの目と耳で体験してみま
せんか?



サクソフォン: 須川展也*



ピアノ: 小川典子

◆ホールアドバイザー 小川典子企画

2024年 2月23日(金・祝) 14:00 開演

ジョセフ・フィブス: セレナータ (小川典子委嘱作)

ラヴェル: ソナチネ 嬰へ短調

ジョセフ・フィブス: 小川典子委嘱作品 (世界初演)

ジョセフ・フィブス: Night Paths (日本初演)*

シューマン: 3つのロマンス*

シューマン: 交響的練習曲



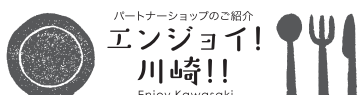
【料金】 全席指定 ¥4,000 U25¥1,500

【発売日】 友の会先行 10/8(日)
Web会員販売 10/11(水)
一般販売 10/17(火)

【Web限定】公演アンケートに回答すると 特製壁紙プレゼント!

Webでアンケートにご回答の方全員に
サマーミュージック特製壁紙プレゼント!

さらに、公演アンケートに書いた
あなたの感想が新聞に載るかも?
公式サイトからどうぞ。



キャベツ、ご飯も味噌汁も地味に旨い

駅前の喧噪を逃れ、とんかつパラダイス

連日の猛暑、冷やし中華も良
いけど、ここはガッツリとんかつ
だ!と、ミュージックから西へ向かっ
て徒歩10分弱、国道1号線少し
手前の瀟洒なビルの2階へ。ラン
チタイムのお得なとんかつ定
食1,000円を注文。かごしま純
粋黒豚「霧島ロイヤルポーク」
にこだわるこの店は、意外にも
刺身定食も得意、メニューは豊
富です。

さて着膳、とんかつの断面が

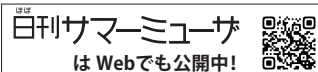
うっすらピンク色。私は揚げず
ぎは好みでないので「少しレア
目」とリクエストしていたのでし
た。

まずはそのまま、次いで岩塩
パラパラ、最後にソースで完
食。さすが専門店、美味しかった
です。夜までお腹が空かない
充実感、やはりとんかつはスタ
ミナ食ですね。夏バテ防止にオ
ススメですよー!

(ひろし)



パートナーショップ特典
黒豚ロースかつ膳 500円引き
※お食事ご利用のお客様に限り
※優待券持参者及び同伴者(3名まで)



フェスタサマーミュージック公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

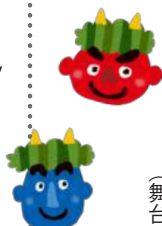
#サマーミュージック
#お待ちどうサマー♪
で検索 & 投稿
お待ちしております!



Twitter: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki



「来年の事を言うって鬼が笑う」と言
いますが、来年以降もこのフェスタサマー
ミュージックの魅力を継続し、また新たな
魅力も観客の皆様にお届け出来る様に、
微力ながら尽力していきたいです。
(舞台・しよった)



フェスタサマーミュージックも、
本日の公演を含めて残り3公
演となりました。今年には初参
加の山形交響楽団、日本セン
チュリー交響楽団、新ホール
アドバイザー宮本貴奈さんのサマー
ナイト・ジャズなど初顔となる公演が多
い年になった印象でした。例年参加さ
れているオーケストラと初参加のオー
ケストラの演奏の聴き比べもお楽しみ
いただけたいのではないかと思います。
フェスタサマーミュージックの魅力の一
つは、こんな風に首都圏では滅多に聴
く事が出来ないオーケストラの公演や、
パイプオルガンを中心とした公演、普
段ジャズを主戦場としていない異ジャ
ンルの演奏者も幅広くゲストに迎えた
ジャズ公演など多彩な公演が楽しめる
ところにもある様に思います。

スタ
ツ
フ
日
誌